

伊豆東部火山群

○概況（平成 18 年 8 月）

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しています。

○地震及び微動の発生状況（図 1、2、3 - ）

8 月の地震活動は静穏に経過しました。この地域では今年 1 月以降、しばしば一時的な地震多発を繰り返し、4 月にはマグニチュード¹⁾ 5 以上の地震が発生しましたが、その後、地震活動は落ち着いた状態となっています。なお、地震回数は昨年に比べるとやや多い状態で経過しています。

1) マグニチュード（M）は地震の規模を表します。資料中の M は暫定値で、後日変更することがあります。

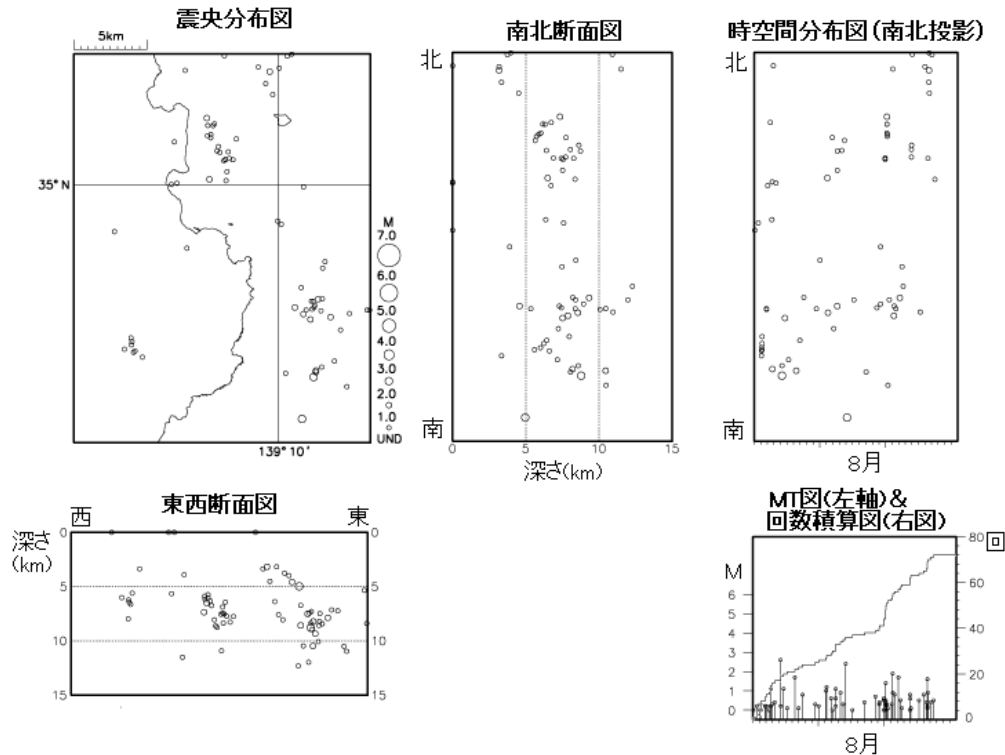


図1 7月の地震活動経過（2006年8月1日～8月31日、マグニチュード¹⁾は暫定値）

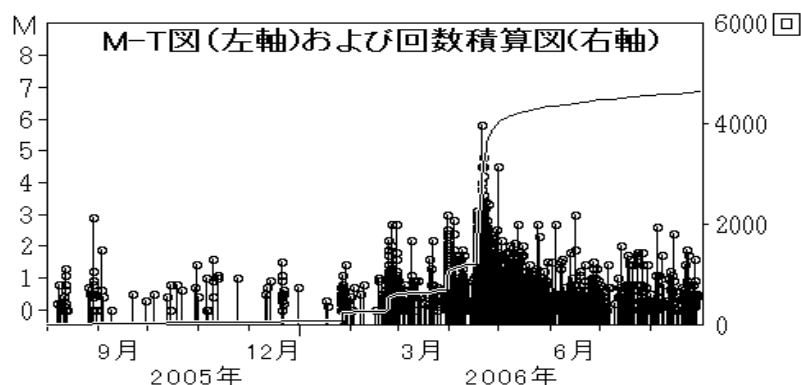


図2 最近約1年間の地震活動経過

（2005年8月1日～2006年8月31日、2006年5月以降のマグニチュード¹⁾は暫定値）

この資料は気象庁のほか、東京大学及び独立行政法人防災科学技術研究所のデータ等も利用して作成しています。
本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』、『数値地図 50m メッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 17 総使、第 503 号）。

○ G P S 連続観測による地殻変動の状況

気象庁の G P S 連続観測では、火山活動によると考えられる変動は認められませんでした(図 3 - ~)、

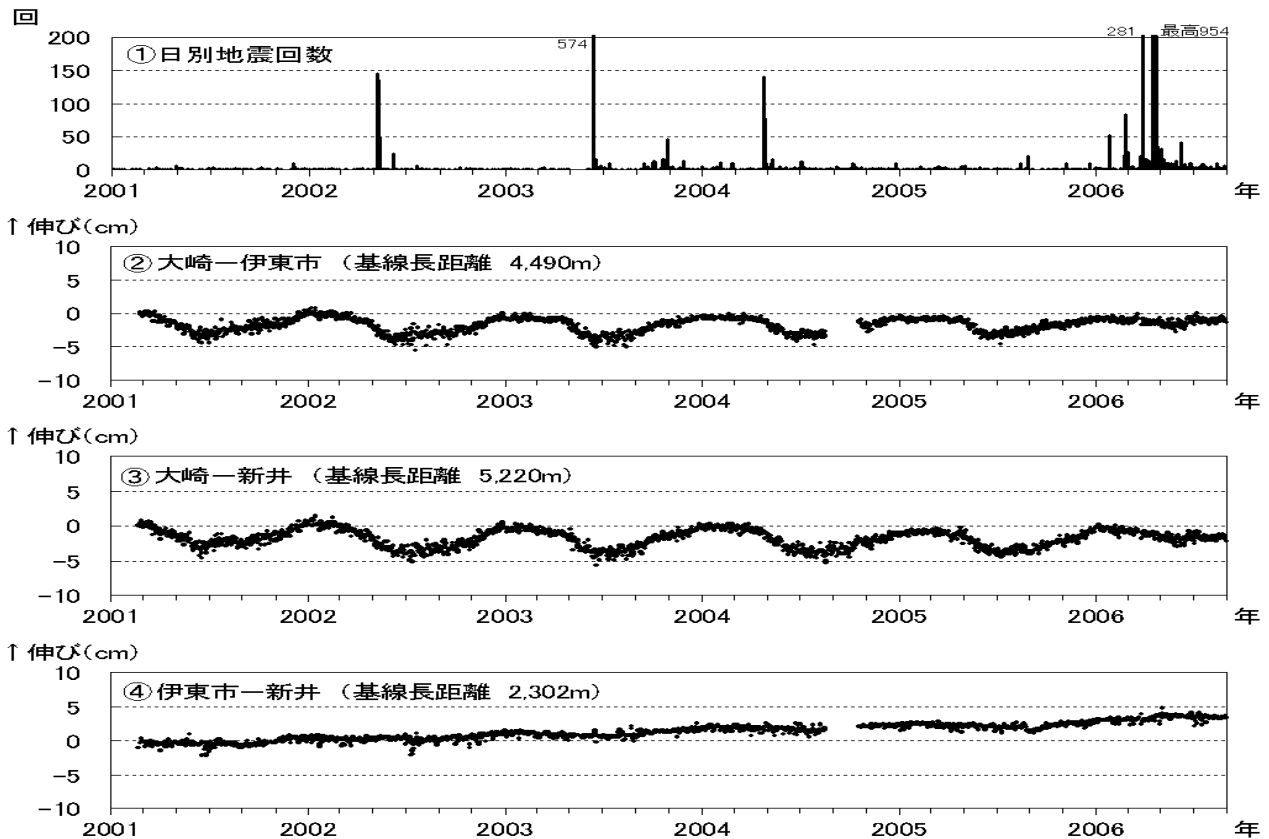


図 3 伊豆東部火山群 鎌田地震観測点（図 4 右図）で観測した日別地震回数と G P S 連続観測による基線長変化（2001 年 1 月～2006 年 8 月）

基線長変化に見られる冬季の伸びと夏季の縮みの傾向は季節変動による変化です。
（ ~ は図 4 の G P S 基線 ~ に対応しています）

○ 噴煙の状況

伊東市役所に設置している遠望カメラでは、噴煙などの表面現象は認められませんでした。

○ 観測点情報

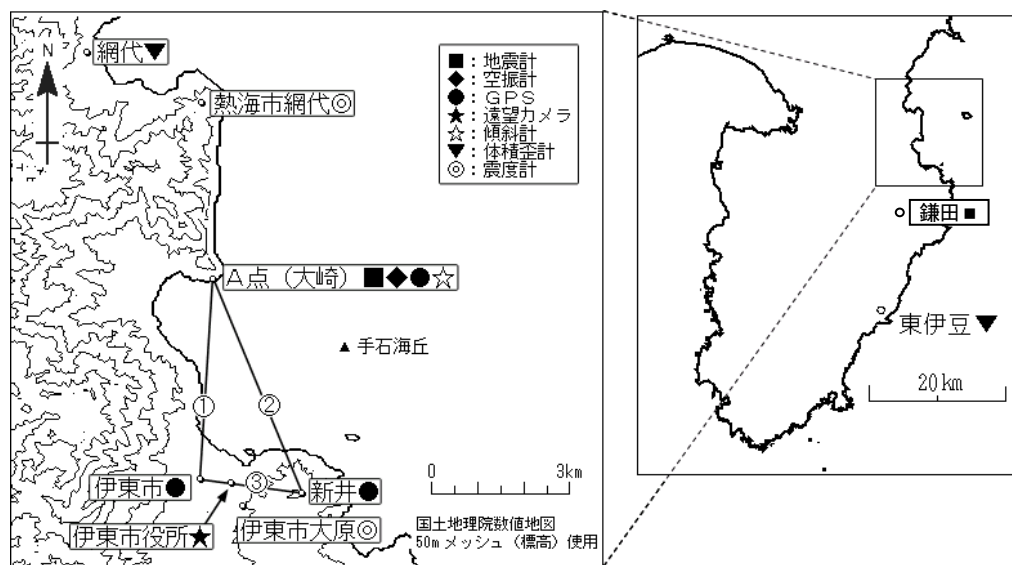


図 4 伊豆東部火山群 気象庁の観測点配置図（小さな白丸は観測点位置を示しています）